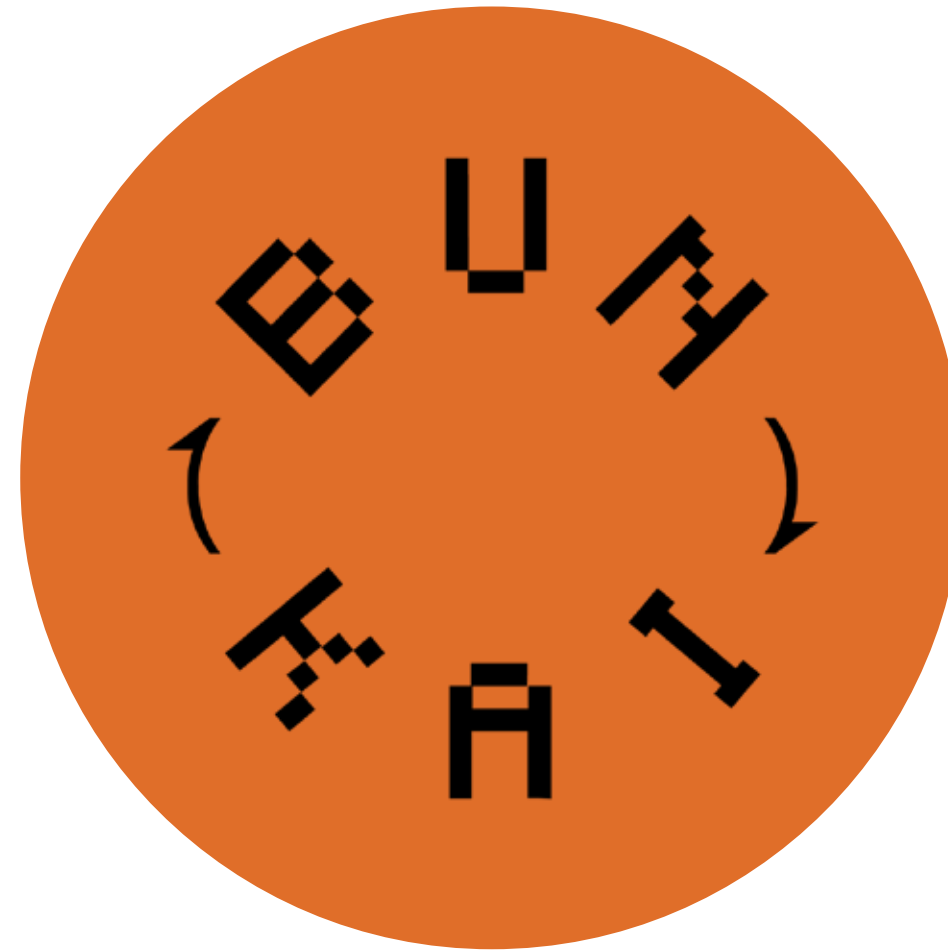




一般社団法人 BUN-KAI
おおぶ竹林循環プロジェクト 活動紹介

自己紹介

箕浦 希奈

フリーランスデザイナー
一般社団法人 BUN-KAI 代表理事
あいち炭々きの会 会長

1991 愛知県大府市出身

2017 単身渡独、先進国の環境・社会事情に触れる

2021 おおぶ竹林循環プロジェクトスタート

2024 一般社団法人 BUN-KAI 法人化





2025 1 月 愛知環境賞中日新聞社賞受賞

2025 ～ セブン・イレブン記念財団活動団体採択

2025 9 月 大府市政 55 周年式典 特別感謝状受賞



一般財団法人
セブン-イレブン
記念財団

2025 1 月 愛知環境賞中日新聞社賞受賞

2025 ～ セブン-イレブン記念財団活動団体採択

2025 9 月 大府市政 55 周年式典 特別感謝状受賞



2025 1 月 愛知環境賞中日新聞社賞受賞

2025 ～ セブン・イレブン記念財団活動団体採択

2025 9 月 大府市政 55 周年式典 特別感謝状受賞

ミッション

OUR MISSION

地域遊休資源の
持続可能な地域循環の可能性探究 &
地縁コミュニティの向上

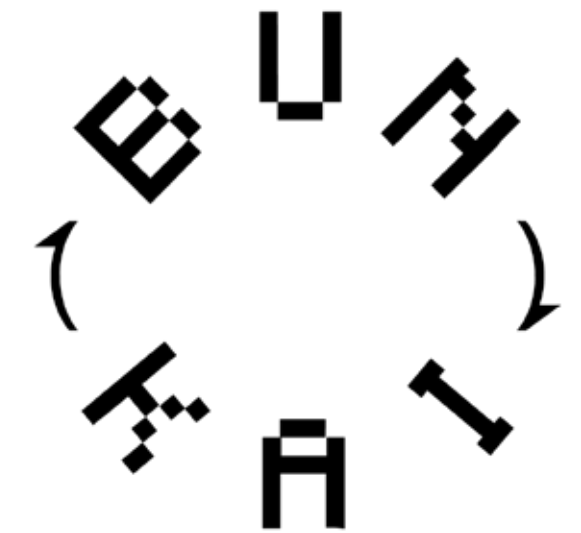
竹林整備事業の特徴

OUR CHARACTERISTICS

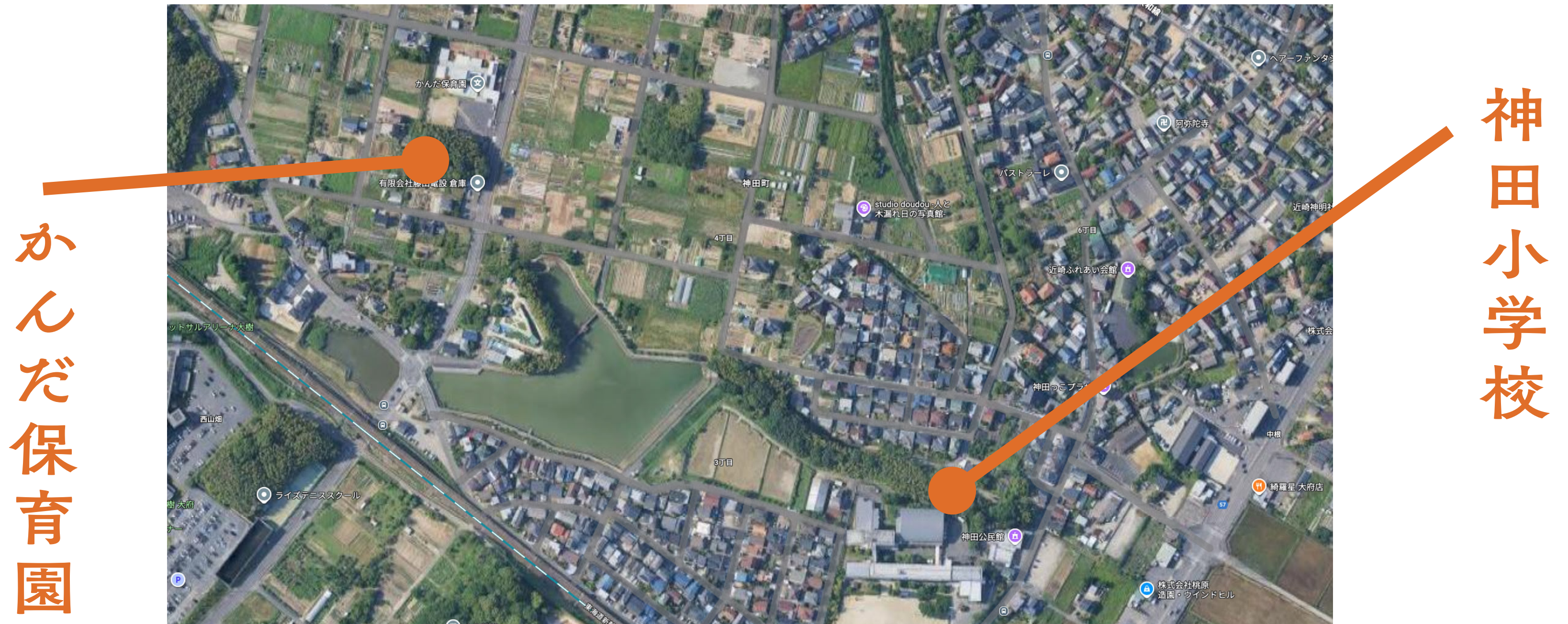
- ▶ 多世代交流の場としての竹林整備
- ▶ 整備者にとどまらない関係人口の創出
- ▶ 小さな範囲での市民活動にこだわる

なぜこの場所の放置竹林？

- 防犯防災の面から小学校裏の景観維持は特に重要
- かつては校外学習で利用。子どもたちに残したい。
- 「竹害」として邪魔者扱いされている環境・社会課題。
⇒ 資源・コミュニティとして新たな価値創造。



新たな整備場所



2025 年度より、セブニーイレブン記念財団の助成によって活動スタート

主な取り組みと関係人口の創出



2021年10月のこぎり1本からスタート。
2026年現在

主な取り組みと関係人口の創出



2021年10月のこぎり1本からスタート。
2026年現在

整備参加者

2000人

※おおよその人数

主な取り組みと関係人口の創出



2021年10月のこぎり1本からスタート。
2026年現在

整備参加者

2000人

マルシェ出店

3000人

120回

※おおよその人数

主な取り組みと関係人口の創出



2021年10月のこぎり1本からスタート。
2026年現在

整備参加者

2000人

マルシェ出店

3000人

120回

環境講演会

1500人

40回

※おおよその人数

主な取り組みと関係人口の創出



2021年10月のこぎり1本からスタート。
2026年現在

整備参加者

2000人

マルシェ出店

3000人

120回

環境講演会

1500人

40回

ワークショップ

600人

40回

※おおよその人数

主な取り組みと関係人口の創出



2021年10月のこぎり1本からスタート。
2026年現在

整備参加者

2000人

マルシェ出店

3000人

120回

環境講演会

1500人

40回

ワークショップ

600人

40回

SNS フォロワー

3700人

※おおよその人数

整備の状態



整備の状態



整備の状態



整備の状態



整備の状態



資源循環



土壌改良材のポース竹炭



● 自然の力の土壌改良材

- ー 多孔質な穴に微生物がすみこむ
- ー 土壌改良材、肥料づくりの基材として
- ー おおぶニックの WA にも採用

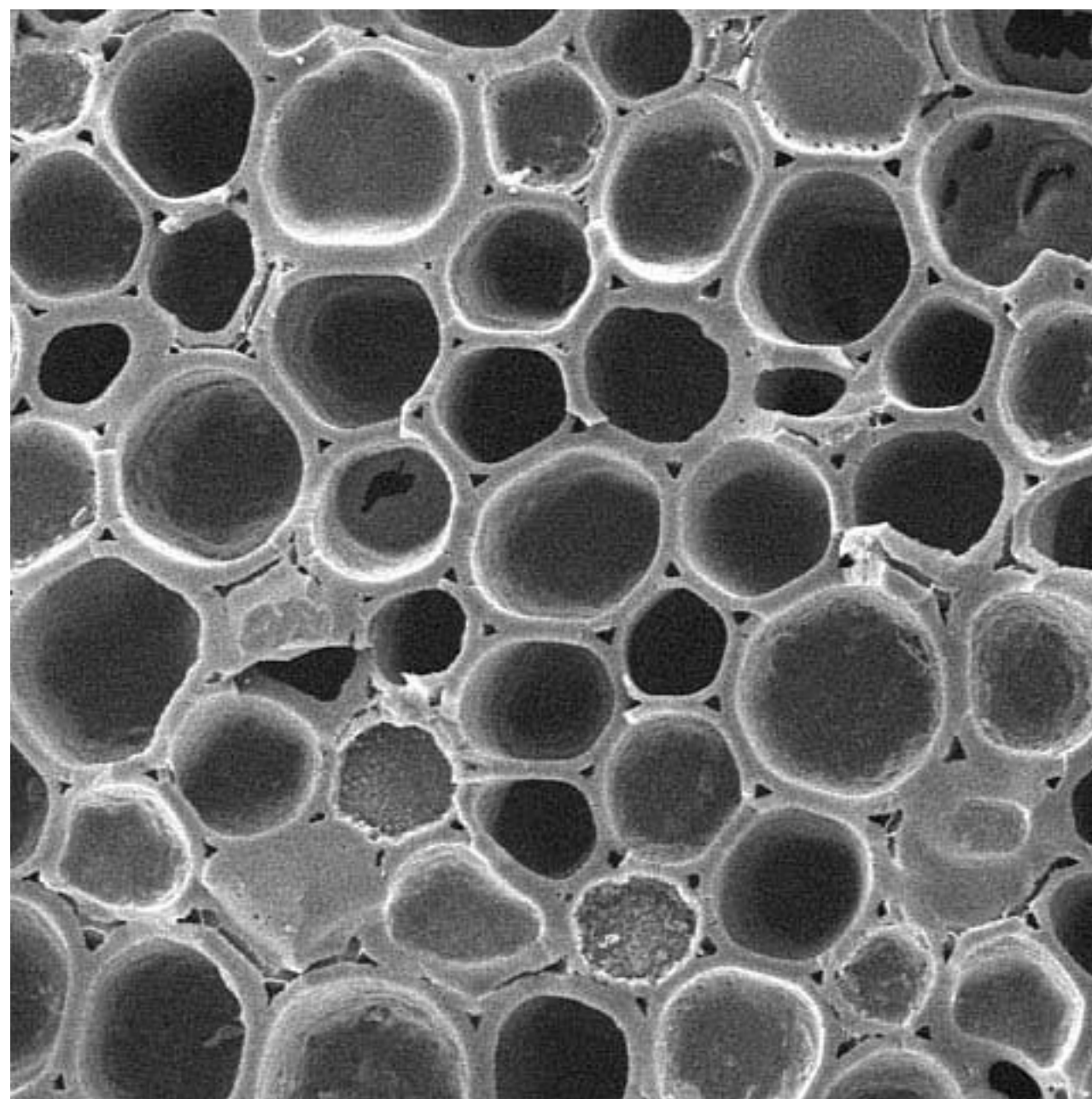
● 大府市ふるさと納税返礼品に登録

● 建築工務店、造園士に販売

- ー 床下の調湿材、土中環境改善として

「おおぶニックの WA」：農林水産省の補助事業であるオーガニック産地育成事業を活用して実施した担い手育成やコメ・野菜の栽培実証グループ

土壌改良材のポラス竹炭



● 自然の力の土壌改良材

- ー 多孔質な穴に微生物がすみこむ
- ー 土壌改良材、肥料づくりの基材として
- ー おおぶニックの WA にも採用

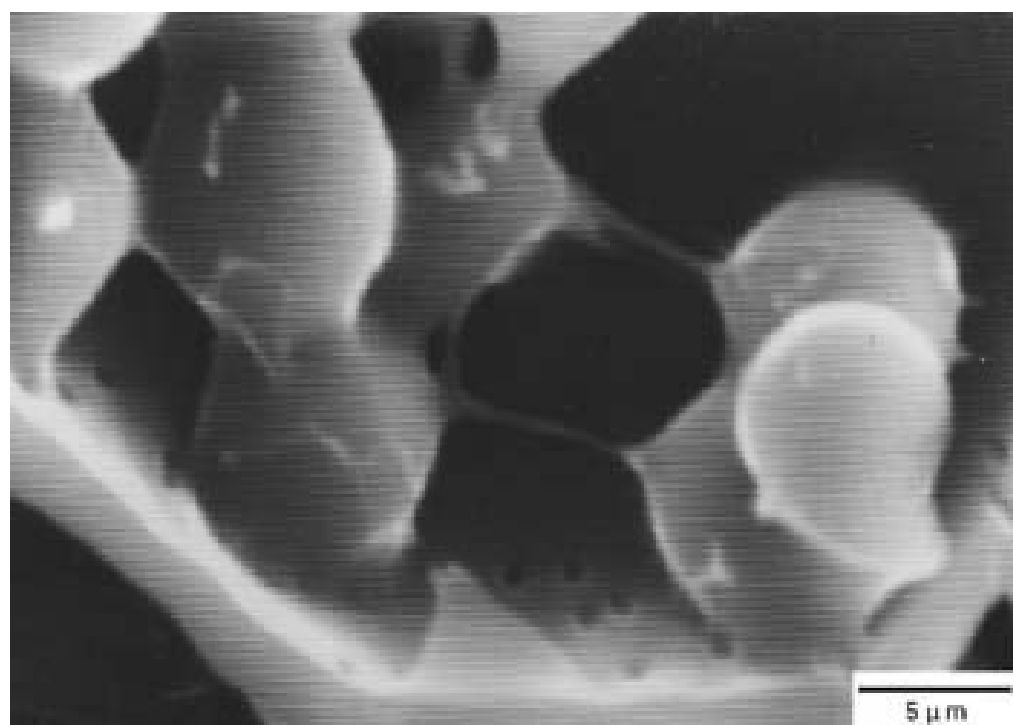
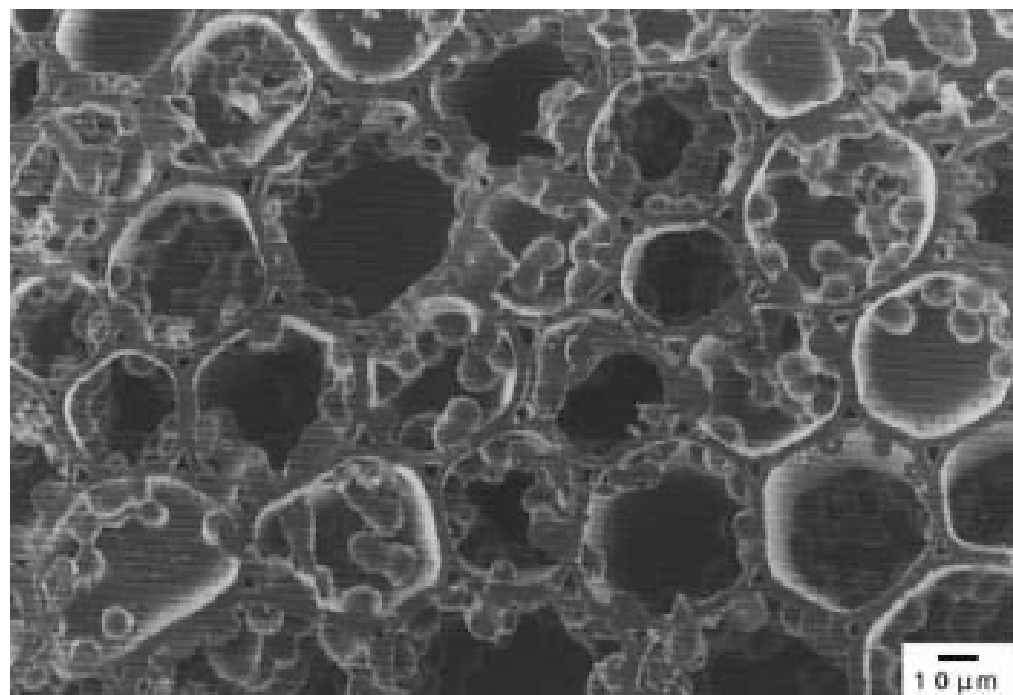
● 大府市ふるさと納税返礼品に登録

● 建築工務店、造園士に販売

- ー 床下の調湿材、土中環境改善として

「おおぶニックの WA」：農林水産省の補助事業であるオーガニック産地育成事業を活用して実施した担い手育成やコメ・野菜の栽培実証グループ

土壌改良材のポラス竹炭



● 自然の力の土壌改良材

- ー 多孔質な穴に微生物がすみこむ
- ー 土壌改良材、肥料づくりの基材として
- ー おおぶニックの WA にも採用

● 大府市ふるさと納税返礼品に登録

● 建築工務店、造園士に販売

- ー 床下の調湿材、土中環境改善として

「おおぶニックの WA」：農林水産省の補助事業であるオーガニック産地育成事業を活用して実施した担い手育成やコメ・野菜の栽培実証グループ

土壌改良材のポース竹炭

つむぎて農園にてポース竹炭の施用実験

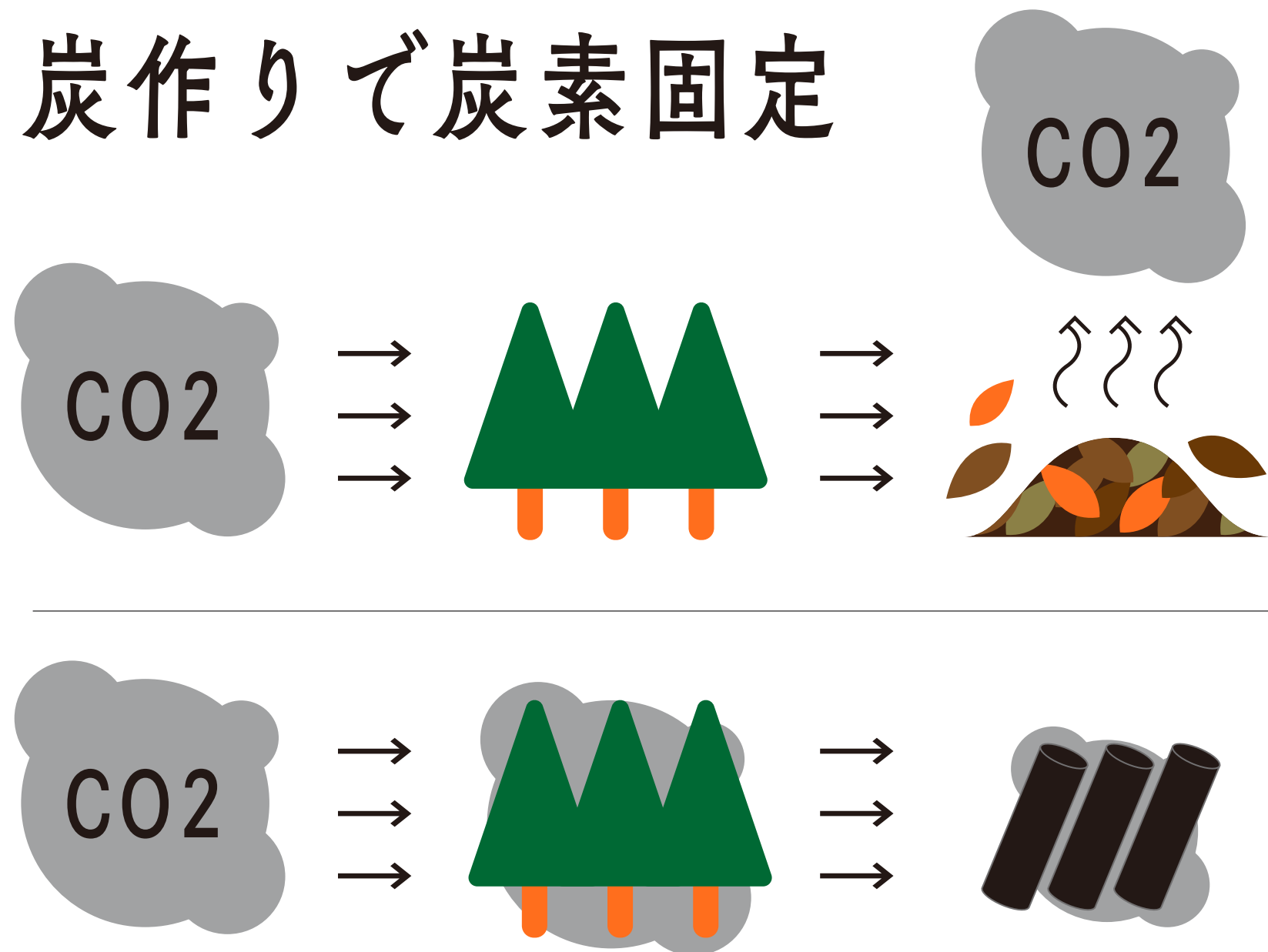
おおぶニックの WA の主要メンバー



炭素固定ができる炭作り



炭作りで炭素固定



カーボンマイナスになる炭素固定！



2026 年 9 月 現在

これまでの活動の中で固定した二酸化炭素量

約 57,868 kg

=

約 4133 本のスギの木が
1 年で取り込む CO₂

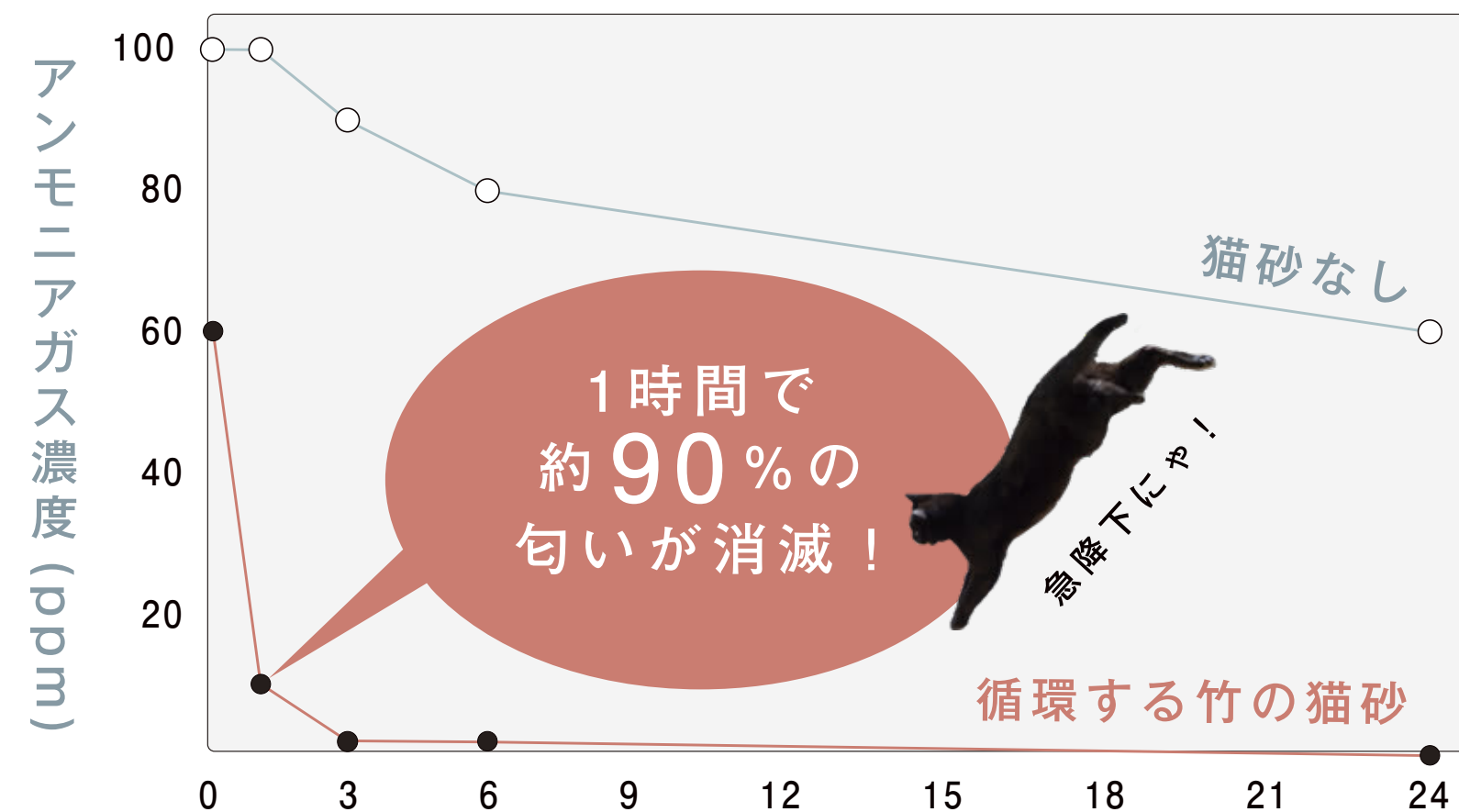
※温室効果ガス削減推進市民ネットワークより / 50 年生の杉の木の平均 CO₂ 吸収量は約 14kg

循環する竹の猫砂

- 大府市内の福祉施設との協働
- 売り上げの一部をおおぶ地域ねこの会へ寄付



循環する竹の猫砂



竹林 DE 防災



避難所に隣接した立地と
竹藪の特徴を生かして
有事の際に有効活用できるような
場づくりの実験

◀ 熱源無限のキッチン &
竹で集水した雨水タンク

竹林 DE 防災



避難所に隣接した立地と
竹藪の特徴を生かして
有事の際に有効活用できるような
場づくりの実験

◀ 循環する竹の猫砂を利用した
バイオトイレ

竹チップ・竹炭で抑草



2026.5.9

2ヶ月



2026.7.4

BAMBOO STATION



竹集積拠点としての役割

竹の処分に困っている市民の方より
枯れ竹を集め竹炭に加工し地域循環させる。

軽トラ **40** 杯分／年間の
回収 & 資源循環を達成

大府市近郊での竹情報を大募集中です！

こんなお手伝いができます！

さまざまなテーマにまつわる情報共有

竹林
整備

環境

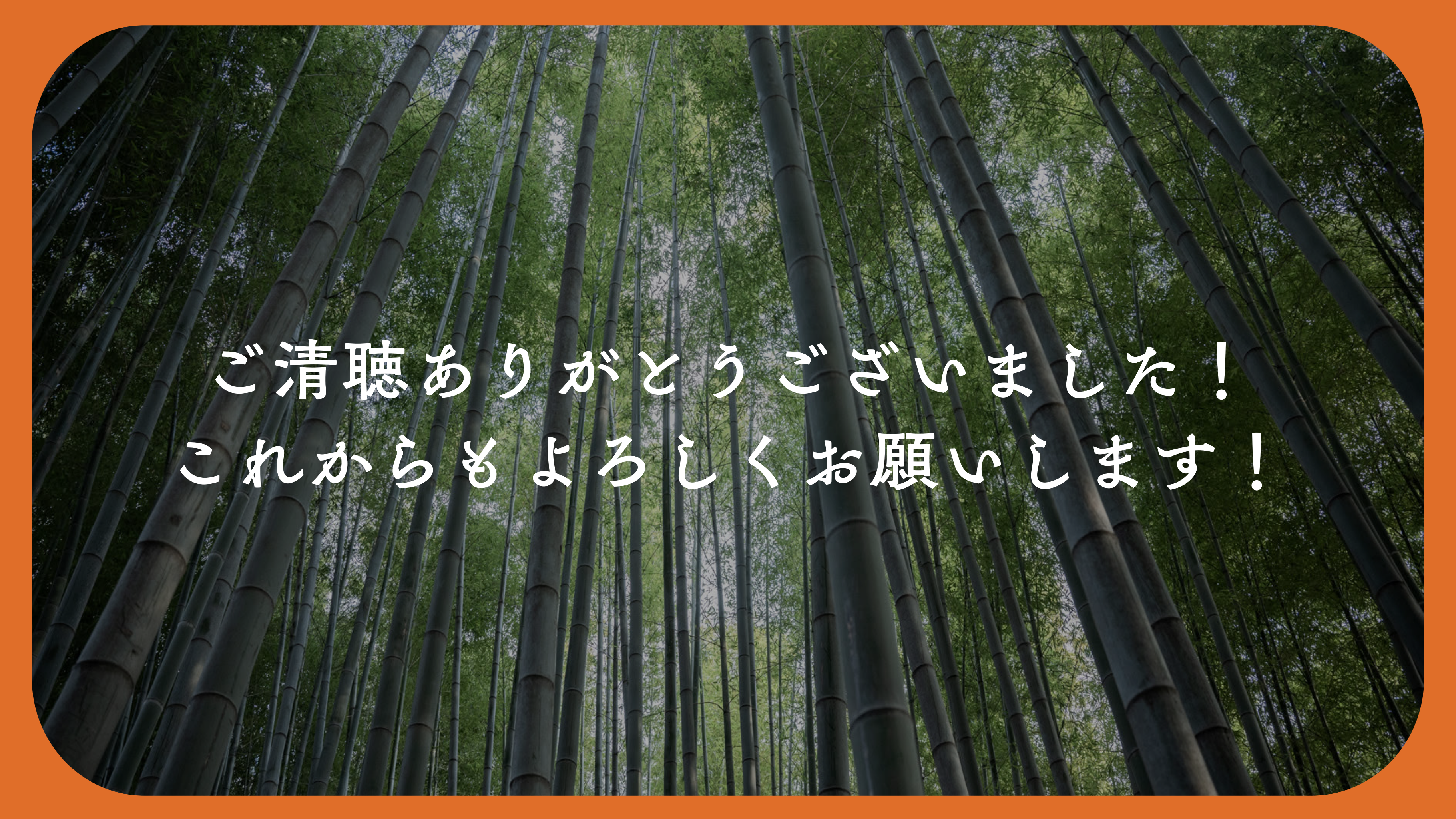
市民
活動

コミュニティ
づくり

小中学生向
環境講座

学生向
キャリア支援

竹炭づくり
実地講座



ご清聴ありがとうございました！
これからもよろしく申し上げます！